

まちの話題

町的话题を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

連絡先

企画財政課広報広聴係

電話 25 - 2136

三上博由さんが農林水産大臣賞を受賞

全国米麦改良協会が主催する「全国麦作共励会」の個人の部で、三上博由さん(神威西)が農林水産大臣賞を受賞し、2月1日に東京都で行われた表彰式に出席しました。

三上さんは、町内の農業仲間20人と一緒に、小麦の生育に関する研究のため、畑の温度や茎数などを細かく調査。農業改良普及センターにより、「秋まき小麦生育清里スタンダード」として集約されたものを、自身が耕作している神威地域の現状と照

らし合わせながら研究に取り組んだ結果、天候に左右されずに収量を確保し、さらに品質の高いものを生育する独自の技術を確立しました。

三上さんは「麦の生産は地域全体での取り組みが必要不可欠。多くの仲間のおかげで地域に貢献できた。また、表彰式などでは北海道清里町を大いにアピールできたこともうれしく思う」と話してくれました。



吉田ミユキさんの百歳を祝いました

1月25日、「介護老人保健施設きよさと」で、この日に百歳をむかえた吉田ミユキさんのお祝いが行われました。

入所者の皆さんが集まりお祝いするなか、町からの記念品が橋場町長から手渡されると、吉田さんは笑顔で受け取っていました。

吉田さんに長寿の秘訣を尋ねると、「昔、ミシンの学校へ通っていたこともあり、今でも手先を動かすことが好きで細かい作業をしている」と話し、職員からも「施設で使うおしぼりを畳むことが日課のようになっていきます」と説明がありました。



中体連スケートで、清中2年の松井宏佑くんが全国大会に出場

清里中学校2年生の松井宏佑くん(水元町第2)が、苫小牧市で行われた中体連スケート全国大会に出場し、

男子1500m13位、3000m18位の結果を残しました。また松井くんは、1月に韓国ソウル特別市で行われた第5回日韓青少年冬季スポーツ交流大会に日本派遣団員としても出場しています。

松井くんは2年生ということもありこれらの活躍が大いに期待されます。



悪条件を乗り越えてスケート大会

1月28日に町内の小中学生43人、2月4日には斜里郡三町の小中学生124人が出場したスピードスケートの競技大会が町営リンクで行われました。

今年はシーズン当初の悪天候により、例年に比べるとリンクの使用開始が大幅に遅れたため、選手の間は練習期間が短いなかでの大会となりましたが、日頃の練習の成果を発揮しようと力いっぱい滑っていました。





飲酒運転の撲滅へ、料飲店が啓発ポスターを作成
 清里料飲店組合（八木沢武志組合長）が飲酒運転の撲滅に向けて、各店舗で啓発するためのポスターを自ら作成しました。

これは、昨年、福岡市で起きた幼児3人が死亡する飲酒運転事故の悲惨さが各種報道により伝えられ、また、罰則強化などもあり、酒類を扱う料飲店自らが積極的に飲酒運転の撲滅に取り組むことを検討。今年1月14日の総会で組合17店舗全ての理解を得て、斜里警察署との連携のもと啓発ポスターを作成し、近隣町村に先駆け組合員それ

ぞれの店舗に掲示しています。

八木沢組合長は、「商売ではあるものの、飲酒運転は、した人だけでなく家族や地域、店側にも影響がでる。ハイヤーの利用や家族の送迎協力など客の理解を得たい。従業員へも徹底した指導を行う」と話してくれました。

町内外を含め、年に数人の町民が飲酒運転で検挙されています。家族や友人、同僚などを含め、飲酒運転は「しない」「させない」ことを実践し、美味しく飲食し楽しい会合を開いてほしいと思います。



かんじきを履いて、冬の子池を探索

2月18日、道道摩周湖斜里線から神の子池までの往復4キロを、かんじきを履いた53名の参加により雪上ウォーキングを行いました。

これは、身近にある景観資源を再発掘しようと、冬は閉ざされている「神の子池」を見るツアーとして昨年より清里町商工会が事務局として行っています。

貴重な機会とあつて8割が町外からの参加。動物の足跡や自然現象に関するガイドの説明を聞きながら雪の上を歩きました。

冬の子池は、真っ白な雪景色に包まれた幻想的な空間をつくり出しており、夏とは違った一層すばらしい景色を見ることができました。



参加と協働のまちづくりに向かつて住民大会

2月17日、プラネット97で、約240人の町民の皆さんが参加し、第29回まちづくり住民大会」が行われました。

オープニングは、江南小学校の児童教員によるオリジナルの合唱曲。続いて今年度の花壇・ガーデンコンテスト

表彰式と清里フォークダンス同好会によるアトラクションが行われました。

また、札幌市南区澄川地区連合会長の 大石昇司さんを講師に迎え「地域の防災力を高めよう 災害時に助け合う 自主防災組織」と題して、安心安全で

住み良い地域をつくるために実践的な内容の講演が行われました。今大会のテーマである「自覚と協働による自主防災組織づくりに向かつて 我が家と地域、みんなの協力で向こう三軒両隣」を、参加者みんなで考える一日となりました。

全道大会をめざし供雪合戦橋

1月27日、28日の両日、焼酎工場前のふれあい広場を会場に、小学生の部に8チーム、一般の部に12チームが参加し、斜里岳雪合戦2007が行われました。



競技は日本雪合戦連盟競技規則に基づき行われる本格的なもので、時間内に相手チームのフラッグを抜くか相手全員に雪球を当てると競技終了になります。

参加者は防寒具に身を包み、競技開始の合図とともに激しく雪球を投げ合い、白熱した試合が繰り広げられました。

女性のつどいで熱心な井戸端会議

2月4日、プラネット97で町内の女性団体会員約80人が集



まり、清里町女性会議主催による「第32回清里町女性のつどい」が行われました。町保健師から「楽しく食べよう毎日の食事」と題した説明があった後、グループに分かれて熱心な討論が行われていました。

また、昼食後の軽い運動として、フォークダンスや清里音頭を踊るなど、健康をテーマに充実した一日となりました。

自治会対抗ミニバレーで心地良い汗

2月18日、トレーニングセンターで自治会対抗ミニバレーボール大会が行われました。

この大会には各自治会より49チーム276人が参加して白熱した試合が展開されました。

珍プレー好プレーも数多く見られ、笑顔と笑い声があふれる会場のなかで、自治会や参加者同士の親睦を深めていました。

優勝の栄冠に輝いたのは、男子フリーの部が緑自治会いいんだよ〜グリーンだよ〜チーム、同40歳以上の部が緑町チーム。女子フリーの部は、上斜里Aチーム、同40歳以上の部が神威南チームでした。



耐寒錬成弓道大会

2月4日、武道館弓道場で管内の弓道愛好家126人が集まり第31回耐寒錬成弓道大会が行われました。

四矢二立の合計8射による的中数が競われ、静寂した緊張感のある道場に矢を放つ音が響いていました。



寒さが身にしみる冬期間でも鍛錬を怠らないことが上達の秘訣というなか、垂石定一さんが一般男子の部、鈴木新之助さんが高校の部で優勝。小松愛子さんが一般女子の部で準優勝するなど、町内の方々が好成績を収めました。

冬を満喫した歩くスキーツアー

2月11日、江南の登山口から美里までのコースを巡る、今年2回目のスキーツアーが行われました。



雪景色のなかで秀峰斜里岳やオホーツク海を眺めながら約13kmを巡るツアーには37人が参加し、冬の日を大いに満喫しました。

今回のツアーは、全体に勾配が緩やかで初心者でも楽しめる、昼食にはジーンギスカンを囲みながら参加者同士の交流を深めていました。